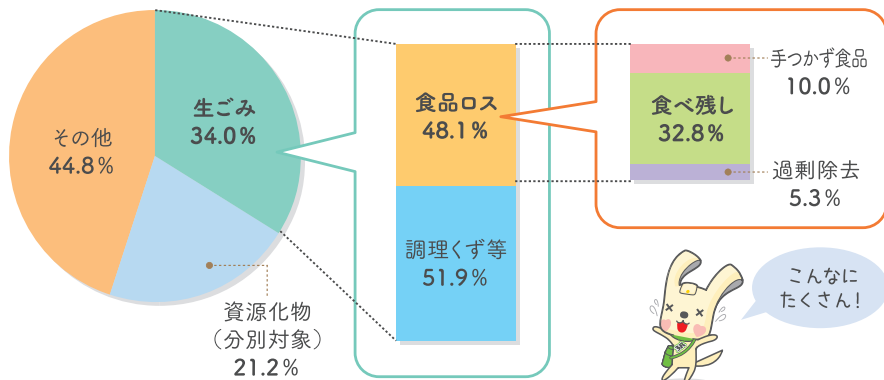


食品ロスとは？

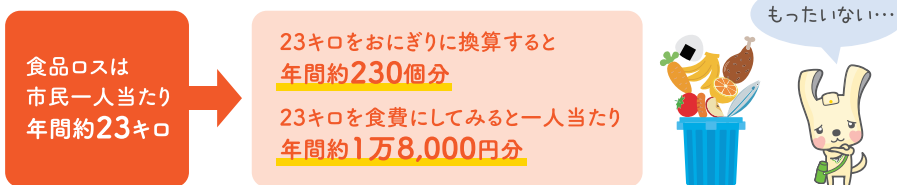
食品ロスとは、食べ残し、安売りなどで大量に買ったが食べきれなかった食品（手つかず食品）、野菜の皮を厚くむき過ぎたもの（過剰除去）など、本来食べられるのに廃棄された食品のことです。

燃やすごみにおける食品ロスの割合（令和4年度）



私たちの家庭からどのくらいの食品ロスが出ているの？

横浜市の家庭から出される燃やすごみの中には、約87,000トン（令和4年度）もの食品ロスが含まれています。これは、家庭からの生ごみの約5割にあたり、市民一人当たり年間約23キロになる量です。



どうして食品ロスの削減が必要なの？



食品ロスは、単に食べ物が“もったいない”だけではありません。食材の生産の際に使用した水、加工するために使用した電気、配送するために消費した燃料など、それぞれの過程で使用した資源やエネルギーも無駄になってしまいます。

そして、これらの資源やエネルギー消費は地球温暖化の原因の一つになります。地球温暖化が進むと、気温の上昇や異常気象により、農作物の生育に影響を及ぼし、食品の値上がりにもつながります。こうして、食品ロスはいずれ私たちの生活に返ってくるのです。